

一時の間、静寂に包まれた山奥に二つの刃が交わる
金切る音が鳴り響いた。
そして、最後の一太刀が振り下ろされる……



さすが、ナンバー2。
女でも容赦のない噂は
あながち間違いいでは
なさそうですね。



一は手加減とせよ。
りたりのその手が...

長引く戦いとせよ。
私に分があらしませんわね。

では、この次の攻撃で



終わりにさせてあげますわ。
これは刀ほどではありませんが、人を
殺めるぐらい容易い代物ですわ。
そして、本気を出した私の速さはおう
貴方様の目でも追いつかぬもの。
避けることも防ぎきることすら出来な
いでしようね。

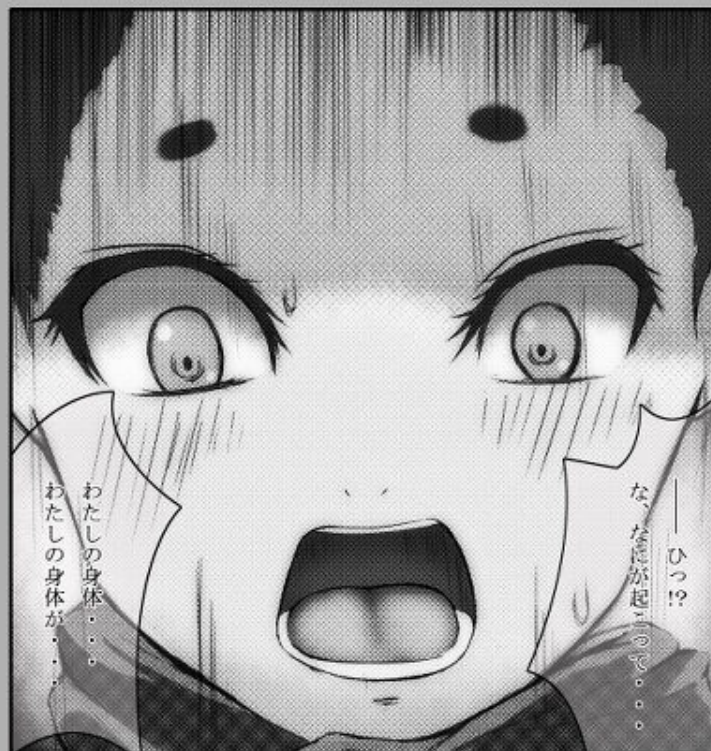
クスッ。

最初は目がいいでしたわな。
見えなくなった敵を相手だ、うらたえる
貴方様を眺めるのも一興ですわね。
成いは...







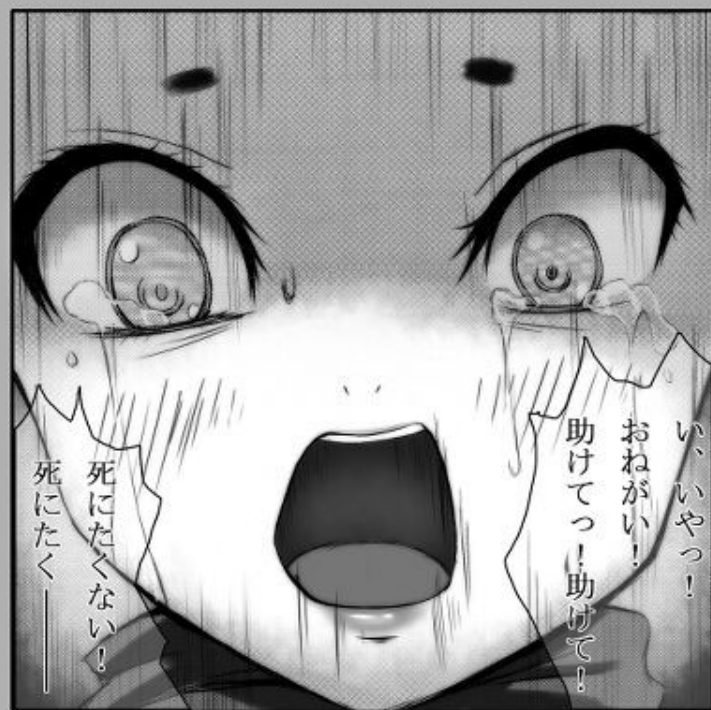


ひっ!?
なにが起こってるの……

わたしの身体……
わたしの身体が……



格下の貴様が手を抜く余裕などない。
己の馬鹿さ加減を恨むんだな。
そして、貴様に残された僅かな時間を、
死の恐怖に駆られながら逃げ、腐れ下郎。



い、いやっ!
おねがい!
助けてっ!助けて!

死にたくない!
死にたくない!



女忍者の醜い悲鳴を最後に再び静寂を取り戻してから一時、
二人の浪人風の男が女忍者であったものに歩み寄り、そして





へっ、へっ。まったくよお。
自信ありげに単身で挑んで
こんなことになっち
まってるとはな・・・

うっ、うお！
三日振りのものが溢れ
出しやがる！



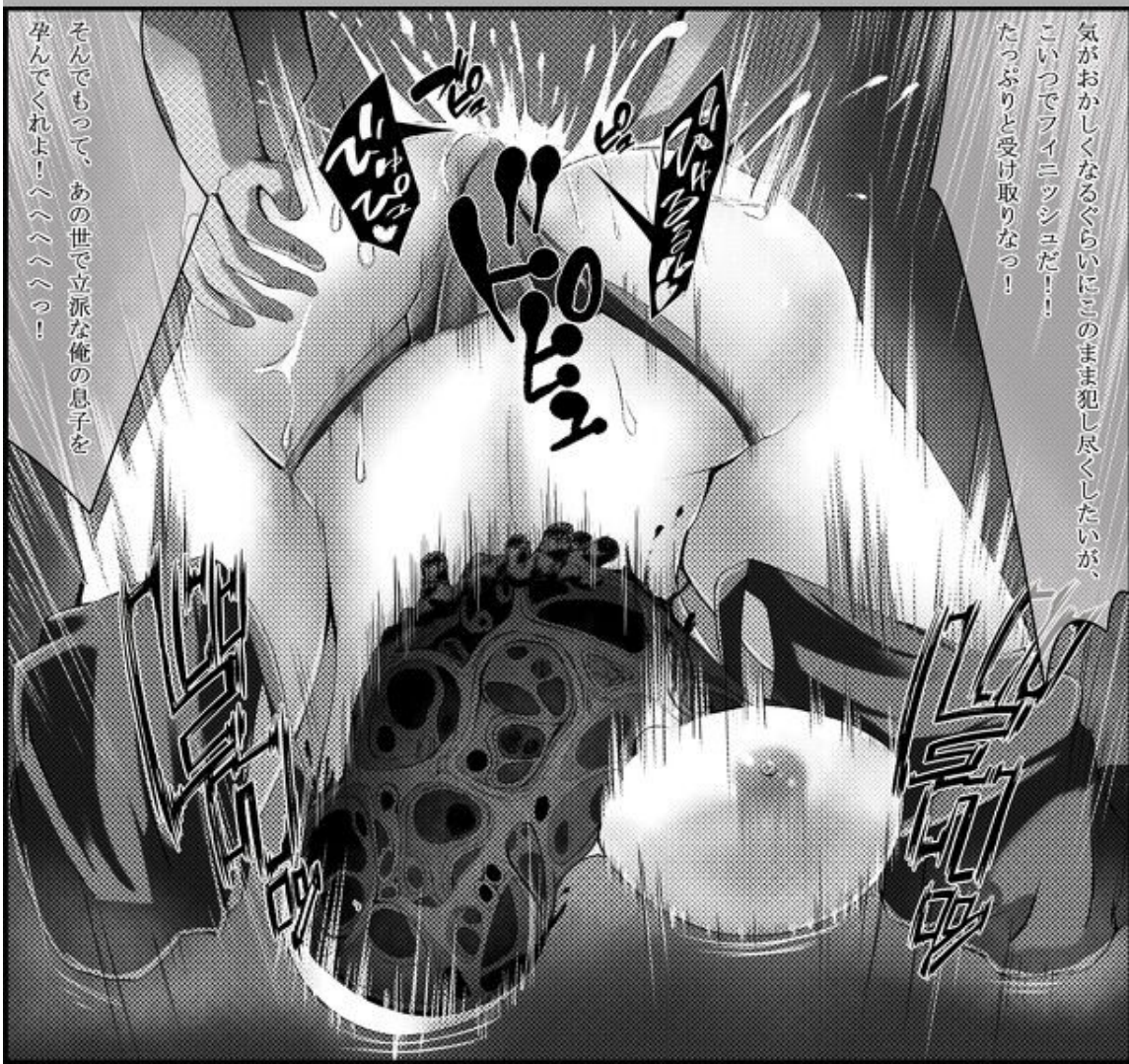
初めてコイツのデカ乳を揉んだが、
こんなにも気持ち良い
もんだとはなっ。

おいっ！
てめえばかり楽しんでねえで
さっさと変わりやがれ



はっははははっ！
噂通りのエロいケツしてやがる！
思わず顔を埋めたくなる感触だぜ。

たかがくノ一の分際ですよつ。
散々目の前で艶めかしく、締まった
身体をひけらかしておいて、こんな
肉塊になっちまったんじや
ザマアねえぜ。



気がおかしくなるぐらいにこのまま犯し尽くしたいが、
こいつでフィニッシュだ！！
たつぷりと受け取りなっ！

それでもって、あの世で立派な俺の息子を
卒んでくれよ！へへへへっ！

ふう・・・俺達を出し抜いてまでナンバー2に挑んだものあつさりと返り討ちとはな。忍びのくせして情けねえ最期だぜ。しかし、女相手と言え容赦ねえ殺され方だな。顔はもはや判別が不可能だ。

だが、これで自分の身体を恥ずかしげもなく晒すことが出来てんだから、ある意味本望だろうよ。しかし、生きてる内にこいつの生意気な口でフェラを堪能したかったが・・・

つと、それより、さつさと一番のハチマキを追うぞ。うかうかしてたら他の奴らに手柄をとられちまう。こいつには悪いが、このまま放置して行くぞ。

運が良ければ誰かに埋葬されるか、或いは血の臭いを嗅ぎつけた獣共に噛み裂かれるか・・・せいぜいあの世から折ってるんだな。



